

大和市「前市長による公共工事のやり直し指示に関する第三者追加調査」に関わる これまでの経緯

■令和3年

- 3月23日 元副市長が辞職届提出（辞職は4月13日付け）
- 5月7日 「元副市長の辞職は市長の職員に対するパワハラが原因」と報道
- 6月1日 市議会が「前副市長辞職等に関する調査特別委員会」（以下「辞職特別委」という。）を設置
- 10日 前市長が元副市長を相手取り、謝罪広告等請求事件を提起
- 10月ごろ 辞職特別委が、管理職対象のパワハラに関するアンケートを実施
 - ➔結果の中で「前市長の判断による公共施設の工事や契約内容の変更、やり直し、予算の無駄」があったとの回答あり

■令和4年

- 3月31日 元副市長が反訴を提起
- 11月15日 辞職特別委が調査結果報告書を市議会に提出
 - ➔「実名証言が得られないためパワハラ的事实を認定することはできないが、パワハラと思われる傾向により職場環境が著しく悪化している」との結論
 - ➔申し送りとして、次期議会に対し「公共工事のやり直しに関する調査特別委員会を設置し、やり直しに至った経緯、その総数や総額等の真相究明をする」ことを求めた。

■令和5年

- 5月2日 現市長が就任
- 6月8日 現市長が、管理職を対象に実名での①パワハラ、②公共工事のやり直しに関するアンケートを実施
- 7月28日 前市長・元副市長間の裁判の判決言渡し（元副市長が勝訴；控訴せず）
- 9月26日 市議会が「前市長による公共工事のやり直しに関する調査特別委員会」（以下「やり直し特別委」という。）を設置
- 11月2日 やり直し特別委が調査範囲（5施設）を決定
 - 同日、市議会から市長に「調査依頼書」を提出
- 28日 市が弁護士2名、一級建築士1名と委託契約を締結、調査開始

■令和6年

- 6月27日 調査報告書の提出
- 7月18日 調査報告書に係る記者会見
- 8月22日 市議会から市長に「要望書」を提出。要望書の中で、「新たに、こどもの城及びやまと公園の第三者調査を行うこと。」と明記される。
- 10月21日 市が弁護士2名、一級建築士1名と委託契約を締結
- 11月6日 追加調査開始